

第39回 少年の主張 三重県大会

中学生のメッセージ2017

この大会は、毎年、少年の主張全国大会につながる三重県大会として開催されています。今年度は応募のあった12,631名から選ばれた14名が発表を行います。

同時に、この大会をより多くの中学生たちの参加で盛りあげたいとの趣旨から、地元中学校の吹奏楽部に演奏をしてもらうとともに、司会などの大会運営についても、地元青少年育成市町民会議等のみなさんの応援を得ながら中学生が主体となって取り組みます。また、ポスターデザインも地元中学生の応募作品です。

プログラム

12:30	開場	14:40	鳥羽市能楽保存会による子ども狂言の公演
13:00	開会 主催者あいさつ 開催地区歓迎あいさつ	14:50	玉城町立玉城中学校吹奏楽部による演奏
13:20	県内の中学生14名による主張発表 ※発表者の詳細はホームページをご覧ください。	15:35	審査結果発表 表彰式 講評
		16:10	閉会 発表者、運営参加協力中学生等 集合写真撮影 ※進行状況により、時間が前後する場合があります。

鳥羽市能楽保存会



演目

狂言「以呂波(いろは)」 出演 石野 改さん (中1)
石野 斗己さん (小6)

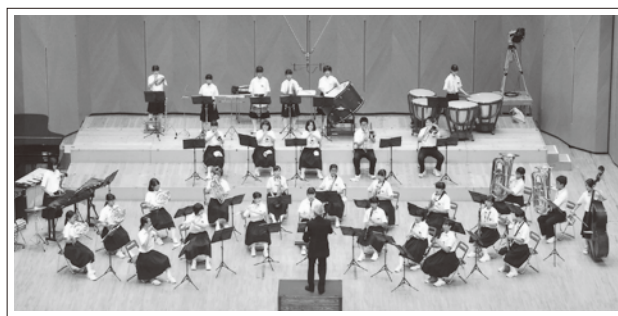
能楽保存会からのメッセージ

江戸時代中期が起源。300余年の歴史ある賀多神社の伝統文化「能・狂言」。平成18年に再発足して12年が経過しました。後継者育成に務めています。

最初小学校1年生2名から狂言をはじめ、現在、15名(幼1、小10、中2、高2)の会員がいます。中高生になると部活や勉強が忙しく、引退する子もいます。(今年3月4名)

週3~4回、森先生のご指導で入会した子も1年で上達。特にあいさつを始め、礼儀作法もよくなります。4月の神社春祭りに狂言8番を奉納しました。その後、夏休みから「伝統文化教室」を開き、能・狂言の歴史と子ども狂言を、保・幼・小・中で年間8~9回公演しています。最近では、各地の祭りや記念事業に招待され、笑いと拍手が起り、出演する子どもにも意欲が高まっています。

玉城町立玉城中学校吹奏楽部



演奏曲目

- ① マーチ・シャイニング・ロード
- ② 喜歌劇「伯爵夫人マリツツア」セレクション 他

吹奏楽部からのメッセージ

このたびはこのような演奏の機会を設けていただき、部員一同感謝しております。現在、3年生15名、2年生29名、1年生17名、計61名で音楽活動をしています。校内の行事や町内のイベントでの演奏、地域の事業所・福祉施設や小学校への訪問演奏、そして毎年度末には定期演奏会を開催させていただいています。聴いていただける方が少しでも感動していただけるよう、夏の吹奏楽コンクールにも出場しサウンドを磨いています。音楽活動を通してみんなが成長していけることを楽しみに頑張っていきますので、どうぞよろしくをお願いします。

会場

伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール

伊勢市黒瀬町562-12

交通のご案内

【鉄道】近鉄宇治山田駅下車 バスで約15分/JR五十鈴ヶ丘駅下車 徒歩約12分

【車】伊勢ICより車で約10分

第①駐車場110台、第②駐車場130台、臨時芝生駐車場140台

※臨時芝生駐車場は雨天の場合、ご利用できません。

【伊勢自動車道をご利用の場合】伊勢インターを伊勢市街方面へ降り、国道23号線より「黒瀬町」の信号機より伊勢市街(伊勢警察署)方面へ左折してください。

